

公益財団法人 8020 推進財団

令和 5 年度 歯科保健活動助成事業報告書 [抄録]

1. 事業名：地域とともに 8020 推進活動
2. 申請者名：(一社) 十勝歯科医師会 会長 大滝達哉
3. 実施組織：(一社) 十勝歯科医師会
4. 事業の概要：地域住民の口腔健康増進のため、平成 19 年から (一社) 十勝歯科医師会が進めている、住民参加型の 8020 運動を継続・推進する。今年のテーマは新たに「国民皆歯科健診」とすることで制度化の前に、地域住民の意識喚起に努め、会員との意識共有も働きかけた。コロナ禍より以前からプラットフォーム戦略としての歯科における「患者 to 歯科 to 多職種連携」との関係の構築にも取り組んでいるので口腔健康のみならず、フレイルという身体能力の低下より先にオーラルフレイルが発生しており、口腔機能低下による食べることの機能低下のみならず、心身の機能低下までつながる負の連鎖の入り口になっていることが分かった。多職種の方々にも、オーラルフレイルの段階で治療することの重要性を認識していただき医科歯科連携として口腔と全身疾患の連携についての啓蒙活動にも取り組んだ。この他にも高齢者のみならず要介護者・障害者に対する口腔機能向上に関する事にも関心を持って頂くよう努力した。更には地域住民自らが率先して参加することにより、歯科サイドからの一方的でない、地域住民からの能動的な要望に答えそれぞれの地域に健康出前講座として足を運び、8020 推進活動並びに口腔機能の大切さを啓蒙し地域活性化の一助とした。
5. 事業の内容：医科歯科連携事業では地域住民に対して歯の健康についての講演やショーでファミリー層をターゲットとしより幅広い年代の多くの住民に歯の健康の啓蒙を行い楽しんでもらえる講演を目指した。ポスターを作成し、歯科医院・関係各所に郵送、掲示依頼を行った。また近年、フレイルやサルコペニアの発生にオーラルフレイルが関与していることが報告されており、在宅医療関係者に口腔機能低下が、全身状態や生活環境に大きく影響を与えることを知ってもらうと共に、多職種との連携を深める機会を創出する。健康出前講座・未来想像授業では地域住民や子供たちを対象にした講座であり、口腔健康の重要性を会員が依頼のあった現地や学校へ赴いて講話する。保健事業では「国民皆歯科健診」をテーマとして3週にわたり寄稿文を新聞に載せて啓蒙を行った。むし歯予防図画・ポスターコンクールの応募は、前年度より参加者が増えた。表彰式は副会長、学校成人部理事、部員の協力のもと、無事終えることができた。出席できなかった参加者への賞品の発送も完了している。本会も本格的な超高齢社会を迎える中で 8020 運動を目標に壮年期からの疾病予防・健康づくり・高齢者の健康の保持増進を目的とする保健事業の一環として、優秀な方を表彰する。
6. 実施後の評価 (今後の課題)：医科歯科関連事業ではファミリー向けの講演会を行いサンスター製作の虫歯予防動画、大和田先生の講演、ジバサンダーショー〇×クイズを行いオープンスペースでの講演会だったので 110 人の来場客があり、楽しく虫歯予防について学んでもらえたと思う。無料で唾液検査を行ったが 3 名しか検査を受ける方がいなかったのはメッセージ不足が否めない。口腔機能低下症についてのご講演をいただいた高齢者歯科学教室の渡邊先生が携われた柏スタディでの研究で、口腔機能低下のみならず、心身の機能低下までつながっていることが分かった。多職種の方々にも、オーラルフレイルの段階で治療することの重要性を認識していただき、周りに口腔内のことでお困りのことがあれば、連携室にご紹介いただくようアピールが出来たかと思う。今後はいかに多くの多職種の方々に来てもらえるかが、今後の課題と感じた。健康出前講座・未来想像授業では以前のように 8020 推進委員がいないので、歯科医師が一般市民の立場を想像しながら専門的にならないように伝えていくことの難しさを感じた。また健康出前講座の要望がコロナ後はかなり減少しており 8020 推進の啓蒙活動をいかに広く伝えていくか検討する必要性を感じた。保健事業ではむし歯予防デ

一市民参加イベント、親と子のよい歯のコンクールは中止となったが十勝毎日新聞に掲載した寄稿文が歯科健診を受けようというきっかけになれば幸いです。むし歯予防図画・ポスターコンクールの子供の絵には歯磨きの大切さ、虫歯の恐さ、虫歯予防の大切さについて考えている作品が多く認められたので、子供たちにも歯の大切さに気付く良いイベントになったと思う。無事に表彰式を開催できたことは良かったと思う。高齢者はのコンクールの表彰を受けた皆様は、口腔内の健康の大切さを分かっておられ、口腔内だけでなく足腰も元気なように見られた。表彰式では受賞者に喜んでいただけ良かったと思う。